

vHut操作手順書

-- 運用者編 --

1. ライセンス

vHut は、Apache License Version 2.0 (January 2004)に基づいて使用、若しくは利用して下さい。

Copyright 2011 NTT Software Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.

See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

なお、vHut では GNU Lesser General Public License, Version 2 でライセンスされている Granite Data Services の Code generation tools (Gas3) を使用しており、改変・再配布しています。vHut を利用・再配布する場合、これらのファイルについては、GNU Lesser General Public License, Version 2 のライセンス規約に従って下さい。Granite Data Services のダウンロード先は、下記の通りです。

<http://www.graniteds.org>

2. 商標

記載されている会社および製品の名称は、各社の商標及び登録商標です。

3. 前提条件

本手順書を実施する際の、前提条件を以下に示します。

- システム管理者が、【vHut 操作手順書(システム管理者編)】の作業を全て行っていること。

4. 手順概要

本手順書の概要を以下に示します。

- テンプレート作成
 - テンプレートの追加
 - ✓ VM の追加
 - ✓ ディスクの追加(ディスクを追加する場合のみ)
 - ✓ スイッチの追加
 - ✓ 属性情報設定
 - ✓ 確認
 - テンプレート起動可能期間の予約
 - ソフトウェアのインストール
 - テンプレートのイメージ化
- VM グループ作成
 - VM グループの追加
 - ✓ テンプレート選択
 - ✓ 利用者選択
 - ✓ 属性情報設定
 - VM グループの利用開始と利用終了
 - ✓ VM グループの利用開始
 - ✓ VM グループの利用
 - ✓ VM グループの利用終了

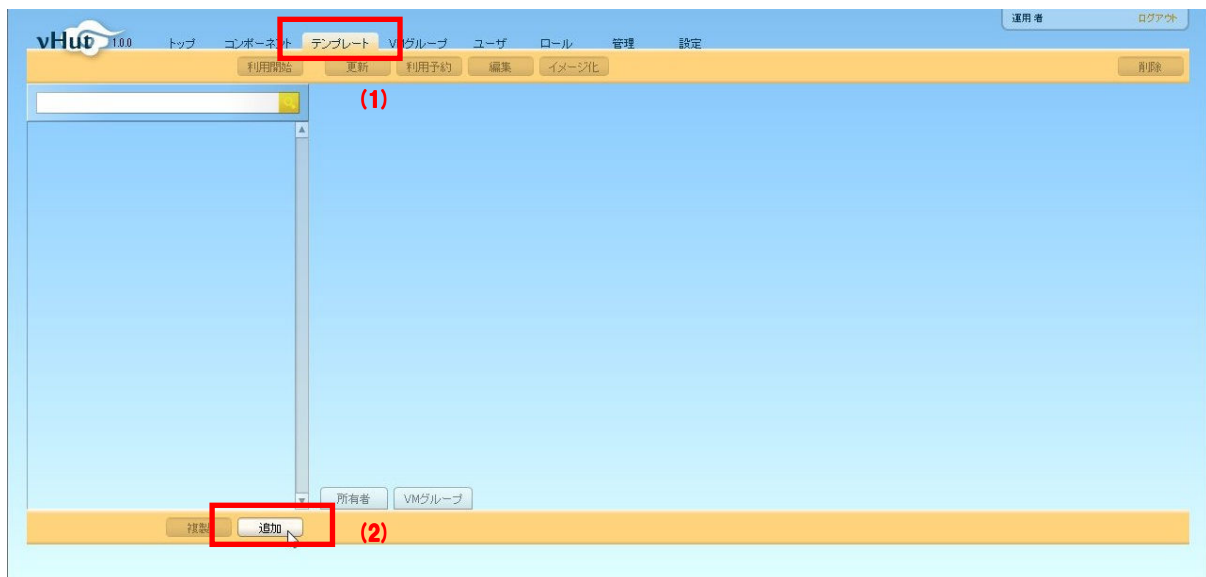
5. テンプレート作成

作成する VM の構成設定を行い、テンプレートを作成します。

5.1. テンプレートの追加

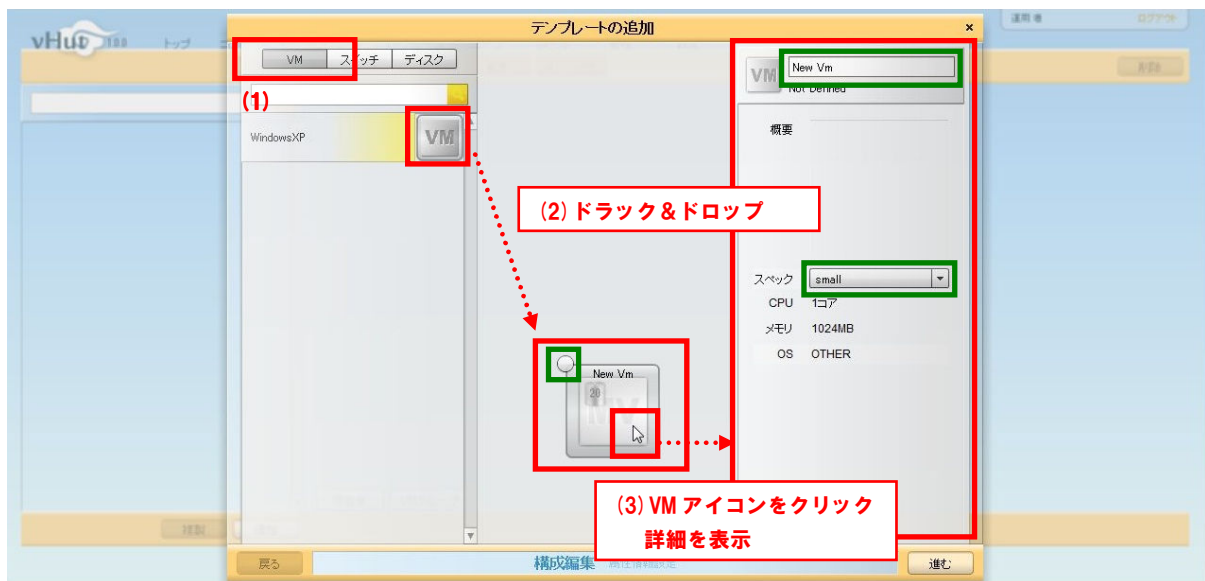
構成情報の編集および属性情報の設定をすることで、テンプレートを作成します。

- (1) [テンプレート]タブをクリックすると、画面に[テンプレート]画面が表示され、画面左側に[テンプレート]サブメニューが表示されます。
- (2) 画面左下の[追加]ボタンを押下すると、[テンプレートの追加]画面が表示されます。



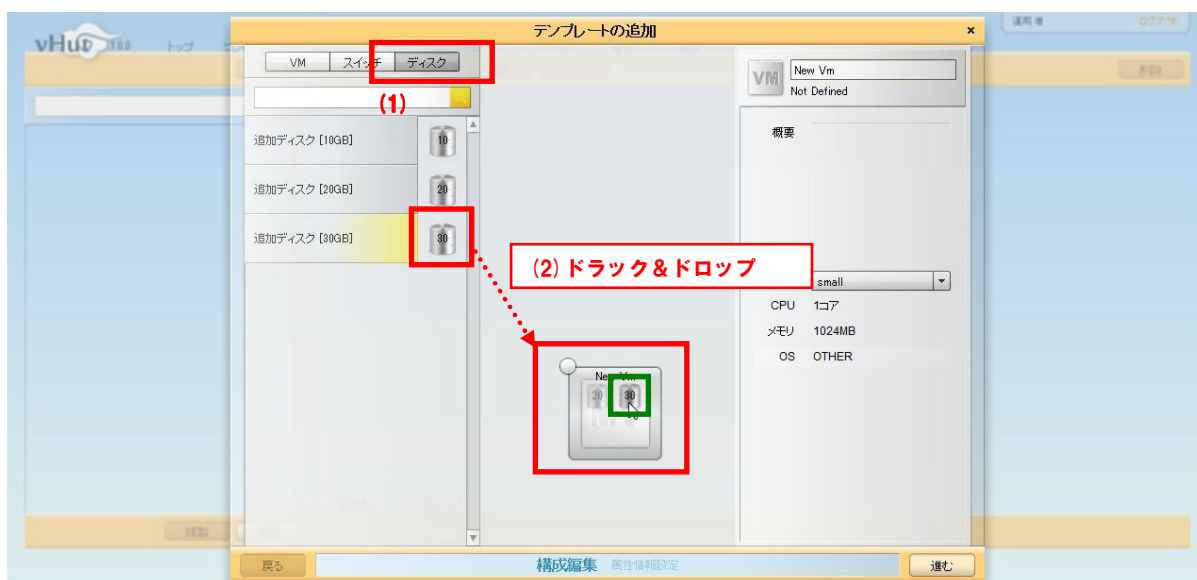
5.1.1. VM の追加

- (1) 画面左上の[VM]ボタンを押下すると、サブメニューに登録済の VM コンポーネントが表示されます。
- (2) サブメニューから使用する VM コンポーネントを選択して画面右側にドラッグ&ドロップすると、テンプレート構成に VM を組み込むことができます。
- (3) ドラッグ&ドロップした VM アイコンをクリックすると、画面右側に VM の詳細が表示され、下記の詳細な設定をすることが出来ます。
 - VM の名前は、テキストボックス内を書き換えることで変更できます。
 - [スペック]のプルダウンから、CPU とメモリの組み合わせ(small、medium、large)を選択することが出来ます。
 - テンプレート構成に定義した VM を削除する場合は、VM アイコン左上の丸ボタンを押下します。



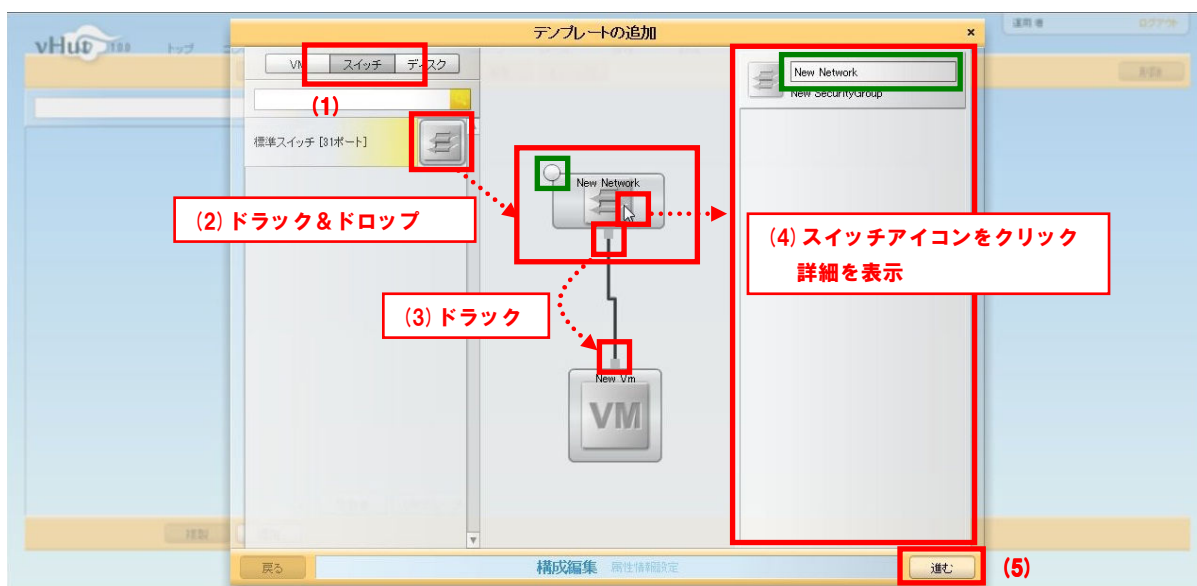
5.1.2. ディスクの追加(ディスクを追加する場合のみ)

- (1) 画面左上の[ディスク]ボタンを押下すると、サブメニューに登録済のディスクコンポーネントが表示されます。
 - (2) サブメニューから追加するディスクコンポーネントを選択して画面右側の VM アイコン上にドラッグ&ドロップすると、VM のディスクサイズを増加させることができます。(VM のデフォルトディスクサイズは 5GB であるため、下図の例では VM のディスクサイズは、30GB 追加して、合計 35GB になります)
- ディスクを削除する場合は、対象 VM アイコンをクリックして詳細を表示させ、削除対象のディスクをクリックした後 VM アイコン左上の丸ボタンを押下します。



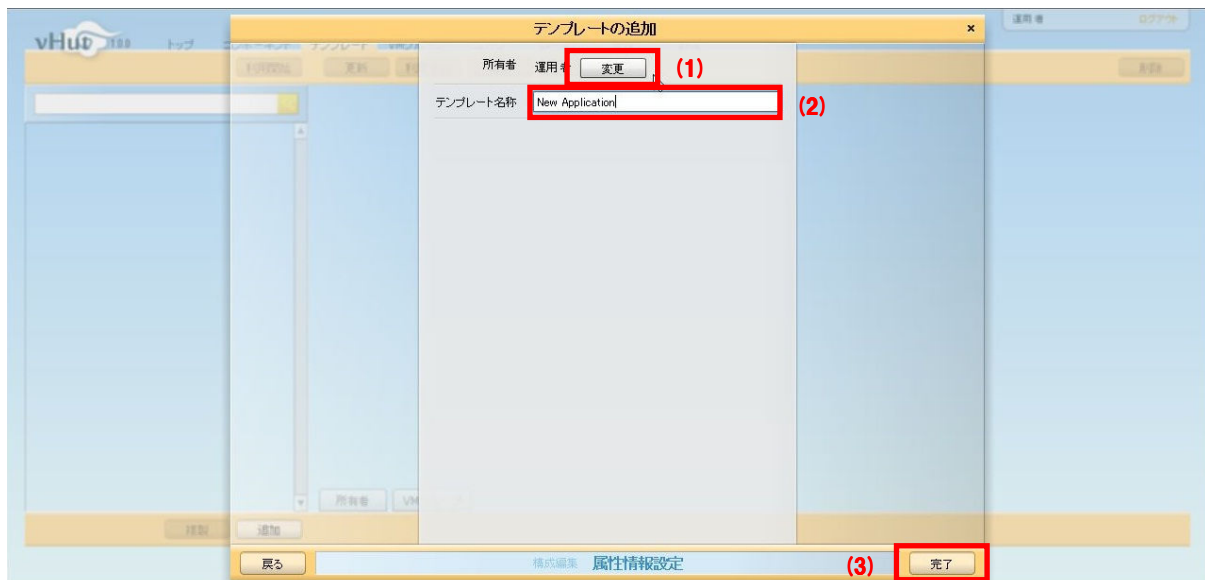
5.1.3. スイッチの追加

- (1) 画面左上の[スイッチ]ボタンを押下すると、サブメニューに登録済のスイッチコンポーネントが表示されます。
 - (2) サブメニューから使用するスイッチコンポーネントを選択して画面右側にドラッグ&ドロップすると、テンプレート構成にスイッチを組み込むことができます。
 - (3) スイッチの端をクリックして VM の端にドラッグすると、ネットワーク構成を定義することができます。(vHut がプールしている IP アドレスと VLAN が、自動的に付与されます)
 - (4) ドラッグ&ドロップしたスイッチアイコンをクリックすると、画面右側にスイッチの詳細が表示され、下記の詳細な設定をすることができます。
- スイッチの名前は、テキストボックス内を書き換えることで変更できます。
 - テンプレート構成に定義したスイッチを削除する場合は、スイッチアイコン左上の丸ボタンを押下します。
- (5) [進む]ボタンを押下します。



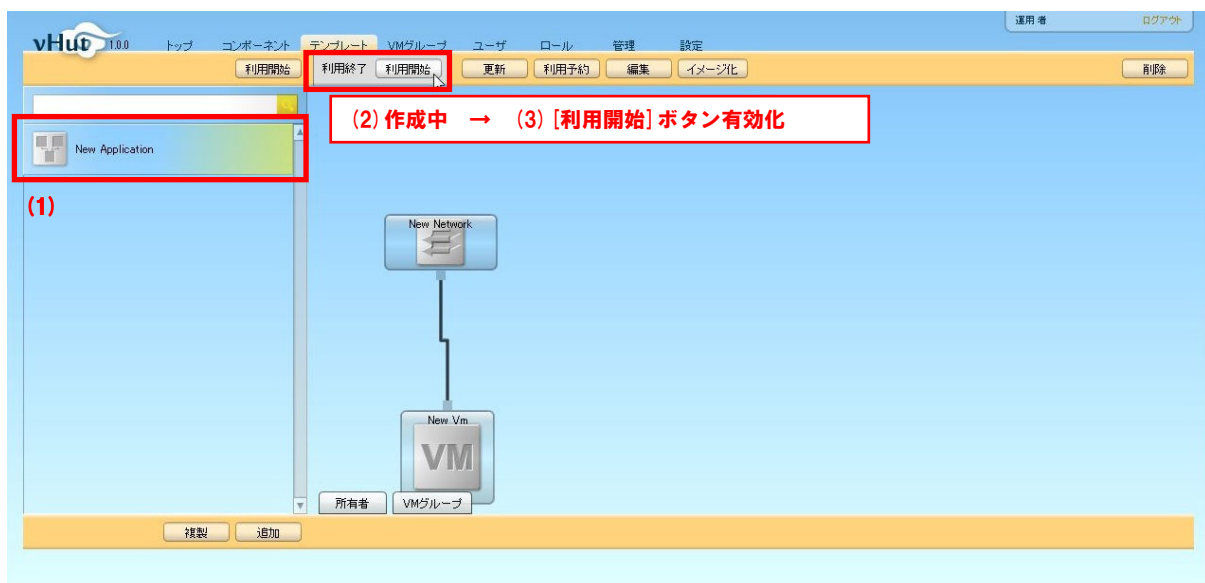
5.1.4. 属性情報設定

- (1) [所有者]は、[変更]ボタンを押下して変更することができます。
- (2) [テンプレート名称]に、テンプレート名を入力します。
- (3) 設定が完了したら[完了]ボタンを押下します。
- (4) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、テンプレートの作成が開始されます。



5.1.5. 確認

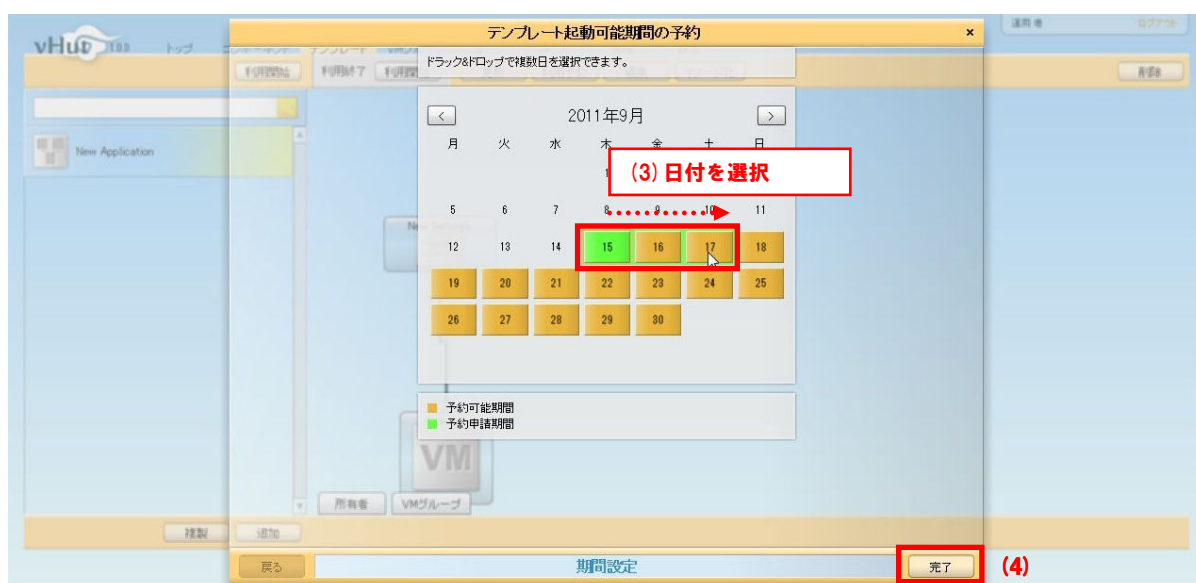
- (1) [テンプレート]サブメニューに、追加したテンプレートが表示されます。
- (2) 追加したテンプレートをクリックすると、[テンプレート]画面にテンプレートの構成が表示され、[テンプレート]タブの下に、ステータスが表示されます。テンプレート作成開始直後は、ステータスは[作成中]と表示されます。
- (3) テンプレート作成が完了すると、ステータスに変化して[利用開始]ボタンが有効になります。



5.2. テンプレート起動可能期間の予約

テンプレートを起動する期間を予約します。

- (1) [テンプレート]サブメニューから、作成したテンプレートを選択します。
- (2) [テンプレート]画面の[利用予約]ボタンを押下すると、[テンプレート起動可能期間の予約]画面が表示されます。
- (3) テンプレートを起動する日付を選択します。
※マウスをクリックしたままスライドさせると、複数の日付をまとめて選択できます。
- (4) 日付選択が完了したら[完了]ボタンを押下します。
- (5) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下するとリソースが予約され、テンプレート起動可能期間の予約は完了です。

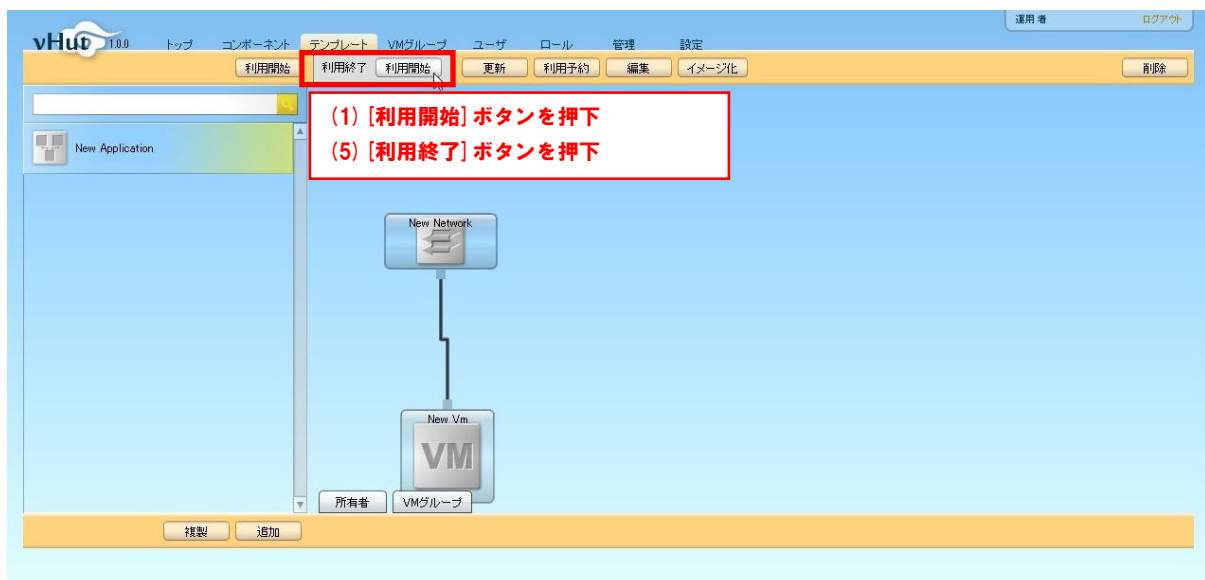


5.3. ソフトウェアのインストール

VMに必要なソフトウェアをインストールします。

テンプレート起動可能期間中であることを前提としています。

- (1) [テンプレート]サブメニューから対象のテンプレートを選択し、[テンプレート]画面の[利用開始]ボタンを押下します。[利用開始]ボタンを押下すると、[利用開始]ボタンが無効化され、[利用終了]ボタンが有効化されます。
- (2) RHEV のユーザポータルにテンプレートの所有者でログインし、利用する VM を起動します。
- (3) VM に必要なソフトウェアをインストールします。
- (4) インストールが終わったら VM をシャットダウンします。
- (5) VM のシャットダウンが終わったら、[利用終了]ボタンを押下します。[利用終了]ボタンを押下すると、[利用終了]ボタンが無効化され、[利用開始]ボタンが有効化されます。
- (6) [利用開始]ボタンが有効化されれば、ソフトウェアのインストールは完了です。



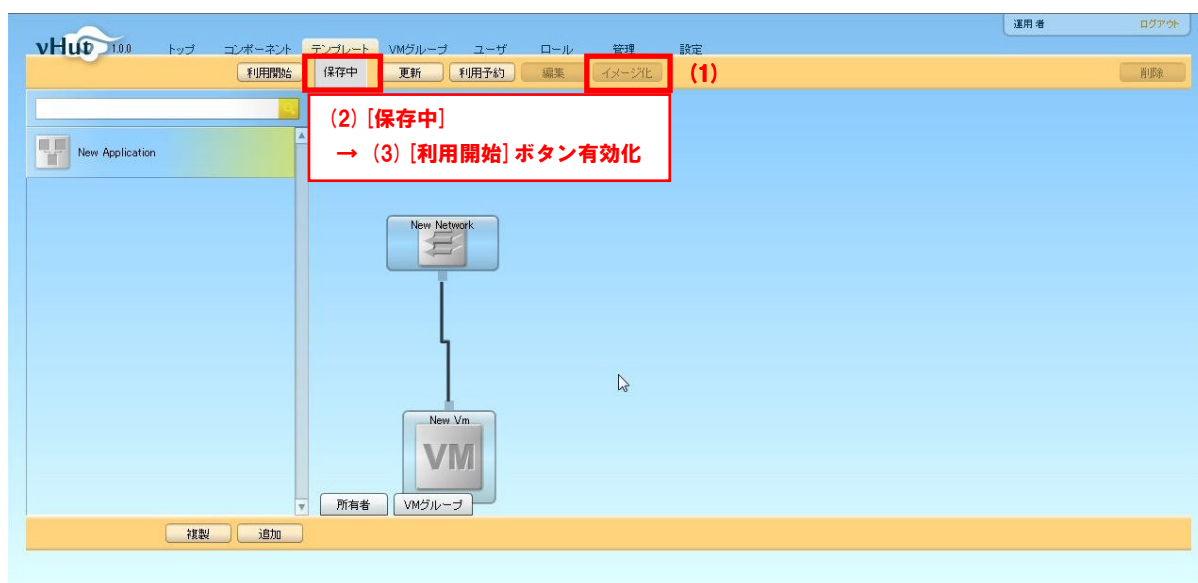
5.4. テンプレートのイメージ化

作成したテンプレートを、VM テンプレートとしてイメージ化します。

イメージ化した VM テンプレートは、VM グループの作成に使用します。

必要なソフトウェアのインストールが完了し、[利用終了]ボタンが押下され、[利用開始]ボタンが有効化されていることを前提としています。

- (1) [テンプレート]サブメニューから対象のテンプレートを選択して、[テンプレート]画面の[イメージ化]ボタンを押下します。
- (2) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、テンプレートのイメージ化が開始され、[テンプレート]タブの下に、ステータスが表示されます。イメージ化開始直後は、ステータスは[保存中]と表示されます。
- (3) ステータスに変化して[利用開始]ボタンが有効になれば、テンプレートのイメージ化は完了です。



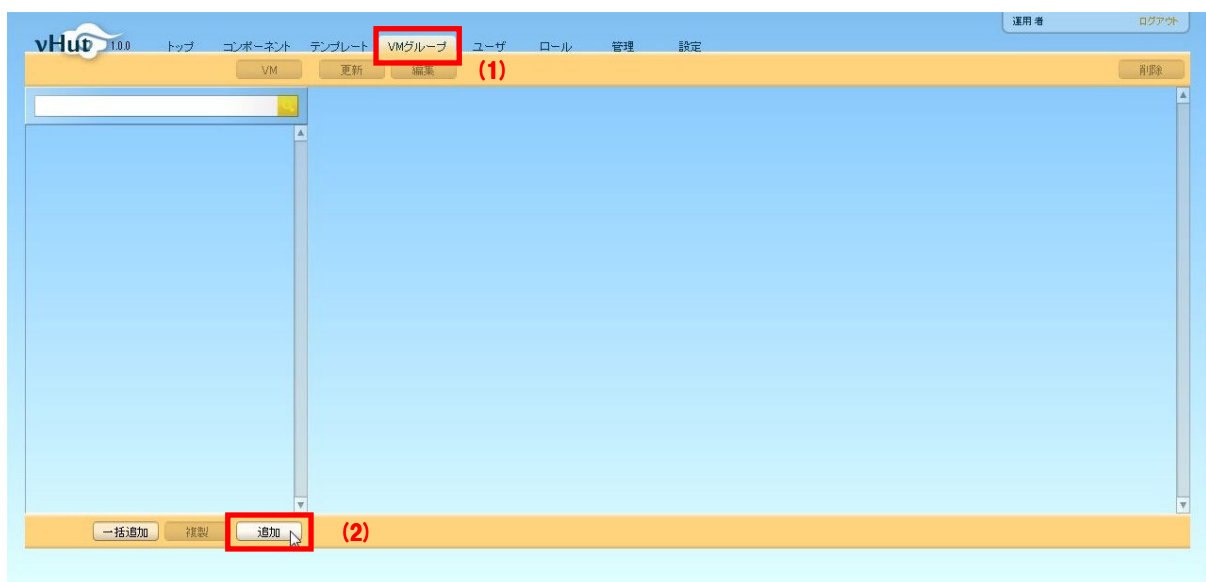
6. VM グループ作成

作成したテンプレートを利用して VM グループを作成します。

6.1. VM グループの追加

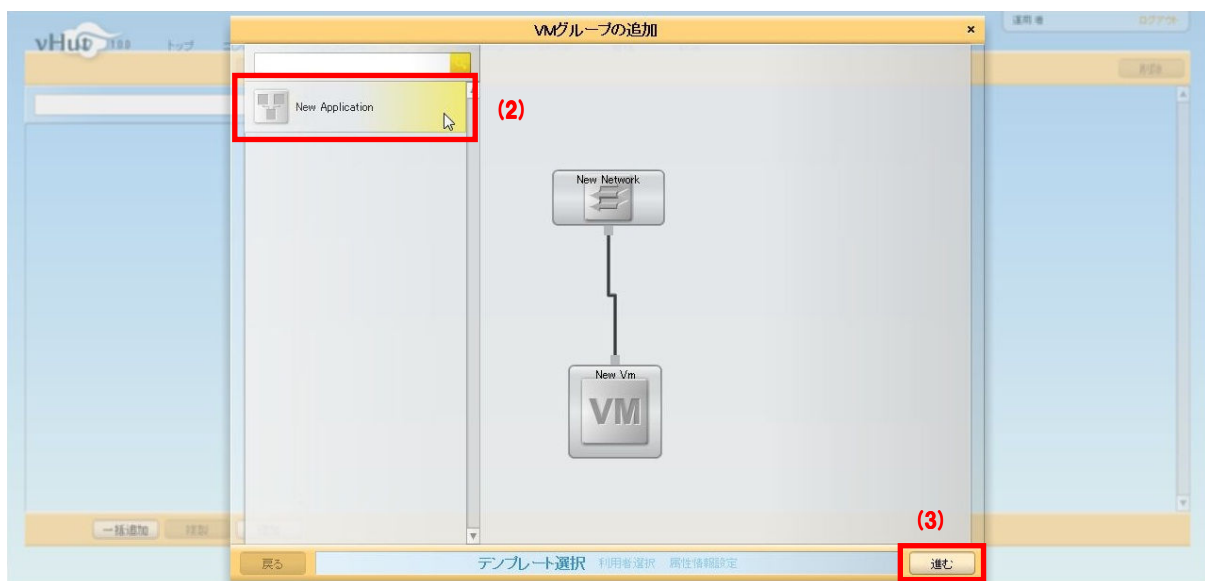
テンプレートの選択、利用者の選択および属性情報の設定をすることで、VM グループを作成します。

- (1) [VM グループ]タブをクリックすると、画面に[VM グループ]画面が表示され、画面左側に[VM グループ]サブメニュー画面が表示されます。
- (2) 画面左下の[追加]ボタンを押下すると、[VM グループの追加]画面が表示されます。



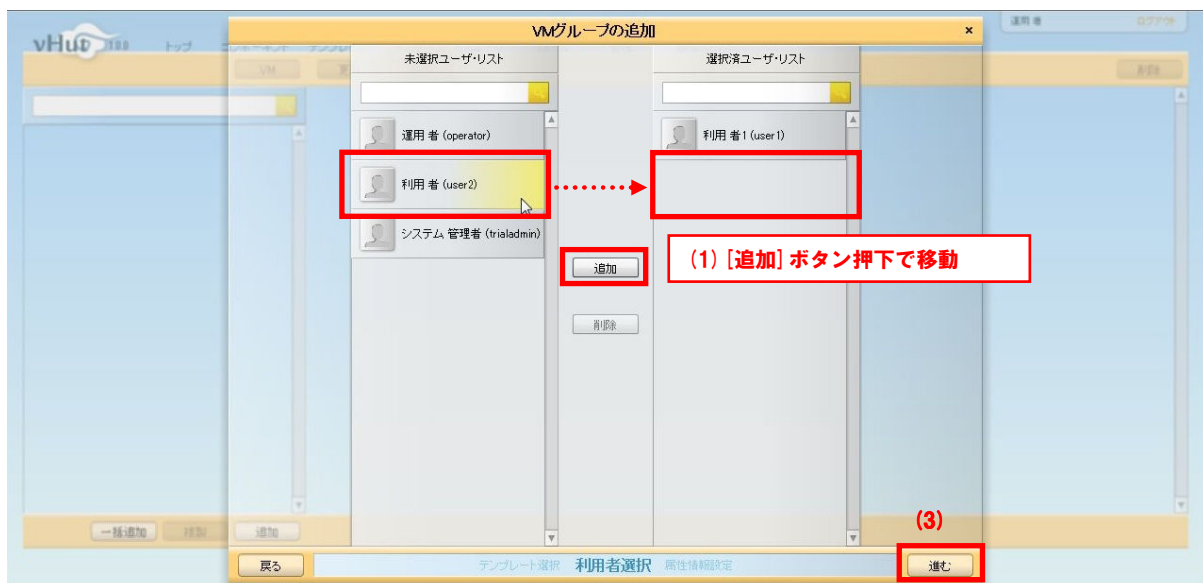
6.1.1. テンプレート選択

- (1) [VM グループの追加]画面のサブメニューに作成済のテンプレートが表示されます。
- (2) サブメニューから使用するテンプレートを選択すると、画面右側にテンプレート構成が表示されます。
- (3) [進む]ボタンを押下します。



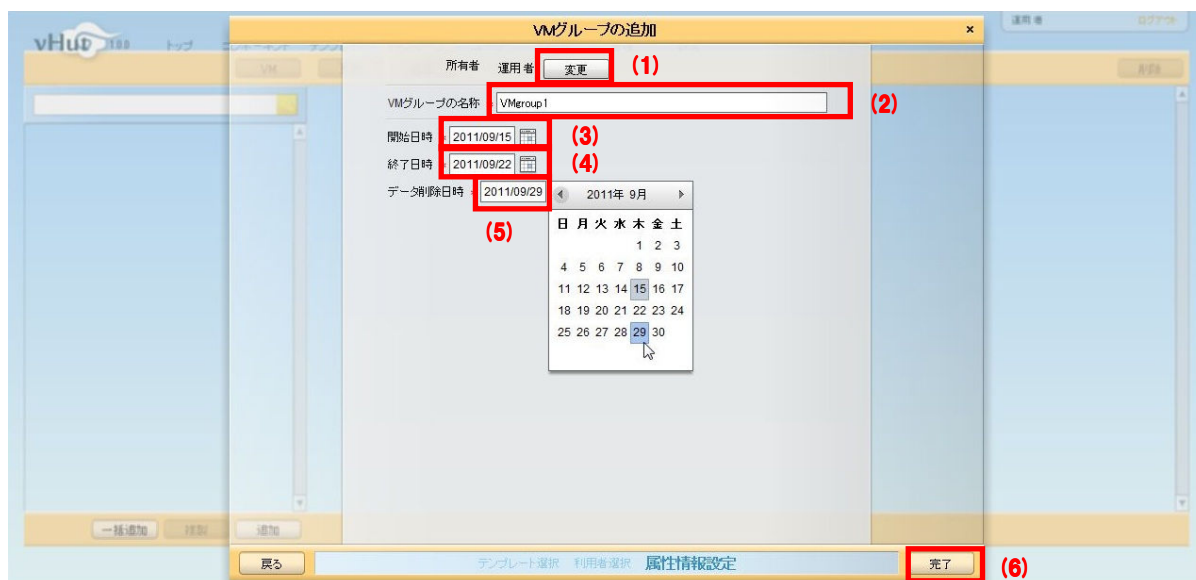
6.1.2. 利用者選択

- (1) [未選択ユーザ・リスト]から、VM グループの対象ユーザを選択し、[追加]ボタンを押下します。
[追加]ボタンを押下すると、対象ユーザが[選択済みユーザ・リスト]に移動します。
- (2) 対象ユーザが複数いる場合は、(1)を繰り返してください。
- (3) 対象ユーザを全員選択したら、[進む]ボタンを押下します。



6.1.3. 属性情報設定

- (1) 所有者は、[変更]ボタンを押下して変更することができます。
- (2) [VM グループの名称]に、VM グループ名を入力します。
- (3) カレンダーから、[開始日時]を選択します。開始日時は VM が利用可能となる日時を意味します。
- (4) カレンダーから、[終了日時]を選択します。終了日時は VM が利用不能となる日時を意味します。
- (5) カレンダーから、[データ削除日時]を選択します。[データ削除日時]は VM のデータが削除される日時を意味します。
- (6) 設定が完了したら、[完了]ボタンを押下します。
- (7) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ[OK]ボタンを押下します。[OK]ボタンを押下すると、VM グループ構成の設定は完了です。設定した開始日時にあわせて vHut が自動で VM グループを作成します。



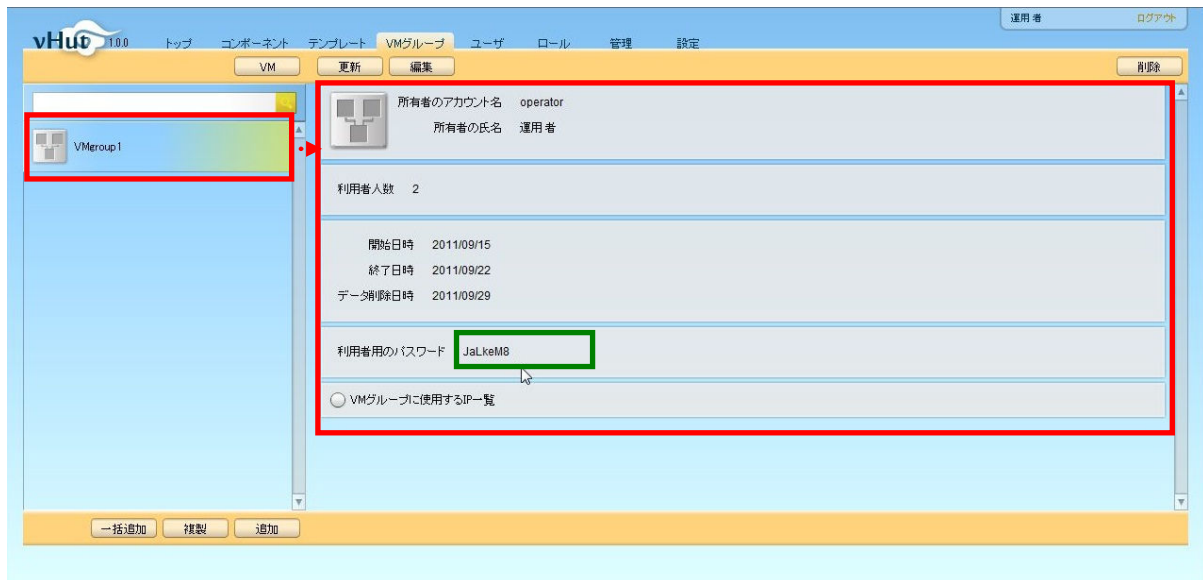
6.2. VM グループの利用開始と利用終了

作成した VM グループの利用開始と利用終了を行います。

6.1.3 で設定した開始日時から終了日時の間であることを前提としています。

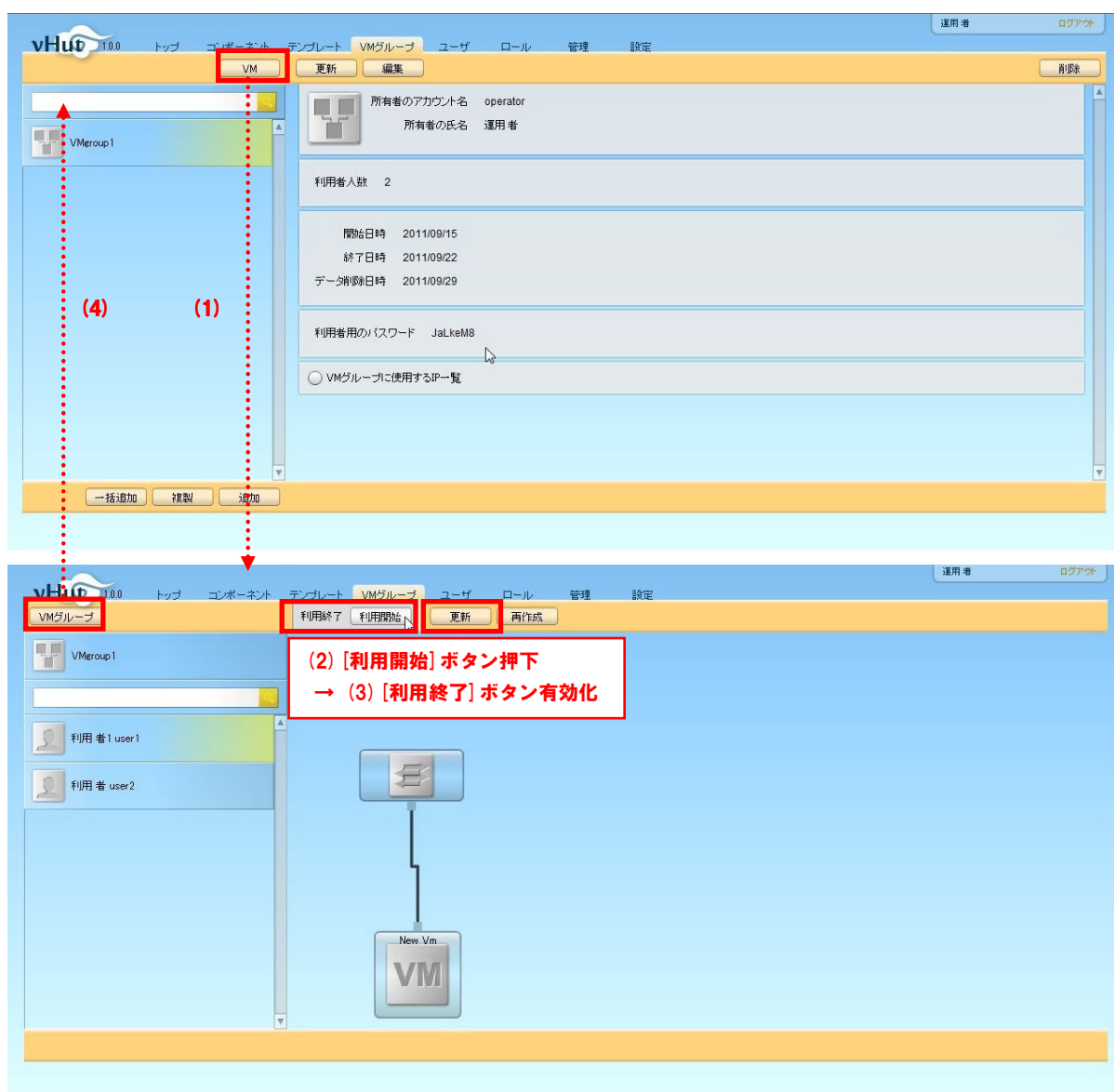
[VM グループ]サブメニューから作成した VM グループを選択すると、[VM グループ]画面に VM グループの詳細が表示されます。

- [利用者用のパスワード]は、VM グループのユーザが RHEV のユーザポータルにログインする際のパスワードとなります。



6.2.1. VM グループの利用開始

- (1) 画面左上の[VM]ボタンを押下して、画面を切り替えます。
- (2) [VM グループ]サブメニューから利用開始するユーザを選択して、[利用開始]ボタンが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、[更新]ボタンを押下します。
- (3) [利用開始]ボタンを押下します。[利用開始]ボタンを押下するとステータスが変更され、[利用終了]ボタンが有効になれば、VM グループの利用開始は完了です。
- (4) 画面左上の[VM グループ]ボタンを押下して、元の画面に切り替えます。



6.2.2. VM グループの利用

- (1) RHEV のユーザポータルに各ユーザでログインし、対象の VM を起動して利用します。
- (2) VM の利用を終了するときは、VM をシャットダウンします。

6.2.3. VM グループの利用終了

- (1) 画面左上の[VM]ボタンを押下して、画面を切り替えます。
- (2) [VM グループ]サブメニューから利用終了するユーザを選択して、[利用終了]ボタンが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、[更新]ボタンを押下します。
- (3) [利用終了]ボタンを押下します。[利用終了]ボタンを押下するとステータスが変更され、[利用開始]ボタンが有効になれば、VM グループの利用終了は完了です。
※バックグラウンドで実行されているコマンドが表示されます。

- (4) 画面左上の[VM グループ]ボタンを押下して、元の画面に切り替えます。

